

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                    |            |           |
|---------|--------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 0190201202         |            |           |
| 法人名     | 社会福祉法人 豊生会         |            |           |
| 事業所名    | グループホームひかりの家       |            |           |
| 所在地     | 札幌市東区東雁来12条4丁目1-12 |            |           |
| 自己評価作成日 | 令和5年11月27日         | 評価結果市町村受理日 | 令和6年2月29日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0190201202-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0190201202-00&amp;ServiceCd=320</a> |
|-------------|---|

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ご入居者が個々に送ってきた生活を大事にするために生活歴や趣味、好きなこと、得意なこと等豊かな情報収集を行いながら、楽しみのある生活を送ることができるよう、自己選択の視点を忘れずに個人に合わせた活動提供を行っている。

・コロナ感染症が5類になり徐々に施設内に併設しているひかりの保育園や小規模多機能型居宅介護事業所ひかりの、同敷地内にある特別養護老人ホームと交流を積極的に行いながらご入居者様に楽しみや刺激のある生活を送っていただけるよう支援している。

・ユニット内の装飾や行事を工夫し、季節感を感じながら生活を送れるよう支援している。

・医療との連携(訪問診療や訪問看護)を密に取り、ご入居者様の小さな体調変化も見逃さずに安心した気持ちで生活を送れるよう支援している。

・ダイバーショナルセラピーを導入し、ご入居者様がいかなる状態にあっても、自分らしくより良く生きたいという願望を実現できる様な機会を持ち、“楽しみ”や“ライフスタイル”に焦点をあてる事が出来る様に支援している。

・誕生日にはリクエストお祝い膳や季節行事食、カフェワゴン等本人の嗜好や食形態に合わせた食事を提供し飲み込みサポートセンターと連携して最期まで食べる楽しみが持てる様支援している。

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット          |
| 所在地   | 札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401 |
| 訪問調査日 | 令和6年1月29日                         |

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の周辺は利用者も訪れている大型公園や団地、運営推進委員を要請している福祉事業所等が建ち並んでいる。広大な敷地内には系列の介護施設があり、事業所は1階に併設の小規模多機能型居宅介護事業所と保育園がある2階に2ユニット、18名の利用者が職員の支援を得て安定した生活を送っている。調理レクでは、昔を偲びながらお稲荷さんを作る利用者に褒め言葉を掛けると「ベテランの主婦だよ」の言葉が返っている。元美容師の利用者は、お風呂上がりの髪をドライヤーで乾かす役目を担ったり、お化粧品講座では講師になっている。ゴルフ好きな男性利用者はコーチとなり参加者を指導するなど、職員は、利用者の得意分野を引き出し潤いある時間を作っている。また、晩秋釣り大会では、大きなシートの上に公園で拾った落ち葉を敷き詰め釣り堀風にし、最後は落ち葉をロビーに飛ばして季節感を出すなど、職員のアイデアは際限なく続いている。

| V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します |  |    |   |    |   |   |   |
|--|--|----|---|----|---|---|---|
| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印                                | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |    |   |   |   |
| 56   | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○  | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目:9,10,19)  | ○ | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57   | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○  | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○ | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58   | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59   | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○ | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60   | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61   | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62   | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |   |   |

## 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|-------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                   |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |   |   |                   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | ・スタッフルーム内に職員が目につきやすい所に掲示し周知されている。<br>・事業計画に盛り込まれ実践している。<br>・「心穏やかに、自分らしく、人とつながり、笑顔を絶やさない毎日」 | 理念に利用者個々に応じた支援を盛り込んでいる。事業所の要所に掲示することで職員の意識づけに繋げ実践に努めている。新人職員は、研修で理念の重要性を学んでいる。                                  |                   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | ・町内会のごみ拾い、こもれびカフェなどの活動に参加している。今年度は2回町内清掃実施<br>・運営推進会議や消防訓練に参加していただいていた<br>・保育園の園児たちとの交流も行った | 地域とは、町内会活動への参加や法人主催の認知症カフェは住民と交流する機会となっている。敬老の日には、町内会から祝い品が届いている。保育園児が七夕やハロウィンで来訪し、利用者を笑顔にさせている。                |                   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | ・法人として認知症カフェなどを実施している。<br>・認知症研修(オレンジリング)など行っている。   |   |                   |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | ・取り組み状況の報告や地域情報の収集、ご家族から意見を伺いサービス向上に努めている。  | 会議には町内会長や知見者、地域包括支援センター職員、家族の参加を得ている。利用者や職員の状況、ヒヤリハットや事故の有無、スライドで利用者の日常を伝えている。推進委員からはコロナ禍に対する労りの言葉や地域情報が得られている。 |                   |
| 5                 | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる   | 地域包括支援センターの職員に運営推進会議に参加いただき、事業所の状況報告を行い協力いただいている。   | 行政とは管理者と介護支援専門員が各案件を担い、窓口担当者に電話やメールで相談事等を伝え、課題を解決している。介護保険認定調査等で来訪の職員には情報を提供し、利用者の安定した生活を支えている。                 |                   |
| 6                 | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束委員会や不適切ケアアンケート、身体拘束や虐待防止の研修など実施している。  | 職員は、身体拘束をしないケアを基本として利用者と生活を共にしている。指針に沿って3か月ごとの適正化委員会で事例等を検証し、年2回の動画研修後には、振り返りシートで理解度を確認している。                    |                   |
| 7                 |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                       | ・虐待についての研修を実施している。<br>・虐待防止委員会を設置している。  |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | ・管理者・職員は制度のについて理解はある。実際に制度を活用できる体制がある。                                       |   |                   |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | ・入居時重要事項説明書を示しながら説明と同意を得ている。   |   |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | ・ユニット会議や運営推進会議にて意見や要望があった際は運営に反映させている。<br>・意見や要望があった時は出来る限り反映させられるように実践している。 | 家族に、年6回写真掲載のユニット通信と、毎月居室担当者から個別の写真と日常の様子を記した手紙を送付している。年4回発行の法人の広報誌も届けている、家族の意向である面会時間の拡充は柔軟に対応し、利用者の要望に応じて買い物に同行している。 |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ・年に1回職員にアンケートを実施し意見や提案する機会がある。<br>・年2回管理者やリーダーと面談の機会がある。                     | 職員は日常的に気付きや提案等を共有し、上司に伝え情報交換を経て実行に移している。年2回の人事考課による個人面談で職員の知識や技術、個人目標の進捗度を確認している。                                     |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | ・年2回人事考課を実施している。<br>・リフレッシュ休暇制度がある   |   |                   |
| 13   |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | ・各種研修の機会がある。<br>・月に1度は動画を視聴しての学機会を設けている。<br>・教育委員会が設置されている。                  |   |                   |
| 14   |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ・研修等に参加できる体制になっている。<br>・研修参加の推奨をしている。  |   |                   |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------|------|---|--|---|-------------------|
|                            |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |  |   |                   |
| 15                         |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ・入居時や日常の中でご本人に丁寧なヒヤリングや観察を行っている。<br>・都度不安や思いを傾聴し出来るだけ安心できる様に支援している。                    |   |                   |
| 16                         |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ・入居時にはご家族様からしっかりお話を伺い、要望があれば対応し関係づくりに努めている。  |   |                   |
| 17                         |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | ・ニーズを把握し必要な支援は何か意向は有るか確認している。  |   |                   |
| 18                         |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | ・なじみの職員と共に家事活動などを行っており感謝を伝えている。<br>・ご本人の意見を尊重しながら関わっている。                               |   |                   |
| 19                         |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | ・ご家族と外出している方がいる。<br>・面会時等では状況報告を行いながらご家族との関係性を築くように行っている。                              |   |                   |
| 20                         | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | ・コロナの影響で機会が制限されているが、面会、外出、外泊は常に受けている。<br>・居室内には馴染みのある物を装飾したりすることで繋がりを感じていただけるように行っている。 | 家族や孫、ひ孫、友人、入居前の介護施設の関係者が訪れている。家族の支援も得ながら馴染みの店での買い物に同行し、また、アルバムや家族写真を一緒に見ながら昔話を共有するなど、馴染みの関係性維持に努めている。 |                   |
| 21                         |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                      | ・対策を講じながら入居者同士が交流が図れるように促している。<br>・孤立や孤独感を感じないように観察を行い職員が他者との架け橋となるように支援している。          |   |                   |



| 自己評価                               | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
|                                    |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | ・必要に応じて相談支援している。   |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |  |   |                   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | ・アセスメントを取りケアプランに沿ってお一人お一人の暮らし方に合わせた支援をしている。<br>・日々の関りからさりげない言葉などを記録に残しケアにつなげている          | 利用者に寄り添う中での言動や個別記録などを参考に思いの把握に努めている。利用者の要望等は職員間でも情報を共有し、叶えるための方策を話し合っている。                                       |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                      | ・アセスメントシートやDTアセスメントシートを活用しこれまでの暮らしを継続できる様支援している。   |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている  | ・生活リズムなどの細目な観察を行い現状を把握できる様にしている。   |   |                   |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ・ご本人、ご家族からの意向や日々のケアの実施評価、専門職からの意見を参考にして介護計画を作成している。                                      | ケアプランに沿った支援に努めている。定期見直しや体調変化時には、利用者や家族の意向、医療従事者の所見を踏まえ、現プランが利用者の状況に適切であるかを検討した上で、継続か新たな支援目標を立案している。             |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                       | ・ケアプランに沿った個別記録となっており計画に反映される。  |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる              | ・ご本人やご家族のニーズを把握できる様にコミュニケーションを図っている。<br>・ニーズに合わせた対応をしている。<br>・一人一人のニーズに合わせたケアプラン作成をしている。 |   |                   |
| 29                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                        | ・町内会のゴミ拾い、こもれびカフェの参加や保育園児と交流され楽しんでいただける機会を設けている。   |   |                   |
| 30                                 | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                   | ・月2回の訪問診療を受け診察上の指示や病状に合わせた処方されている。<br>・ご家族の要望を聞きながら医療に繋げている                              | 入居時に月2回、内科医と月1回、歯科医の往診体制を伝えている。従来からのかかりつけ医や他科受診は家族支援を基本としている。週1回の訪問看護師による健康管理が行われているが、緊急時などは系列の看護師に相談できる関係性にある。 |                   |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|----------------------------------|------|---|---|--|---|
|                                  |      |   | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 31                               |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                       | ・週1回の訪問看護を受け体調管理が出来ている。<br>・24時間緊急時も連携が取れる体制が出来ている。<br>・相談する体制が出来ているため細目に状況説明している。                                |  |   |
| 32                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている   | ・入退院時は、情報提供を行いカンファレンスに参加し連携・調整が取れている。   |  |   |
| 33                               | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ・入居時に重度化した場合における指針の説明・同意を得ている。<br>・主治医による看取りカンファレンスに同席し緊急時や終末期の意向確認をしている。<br>・チームで今後の対応等検討しケアを実施している。             | 重度化や看取りに関する指針を整備し、利用者や家族に説明をしている。重篤時は、主治医から家族や職員に今後の展開を説明している。家族の意向確認後に、尊厳ある最終支援が行われている。                 |   |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | ・AEDを設置している。<br>・緊急時マニュアルがあり確認し修正し適切な対応できるようにしている。<br>・アクシデント発生時や緊急時のフローチャートをスタッフルームに掲示している。<br>・緊急時対応の研修を実施している。 |  |   |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | ・火災時や水害時、夜間想定訓練を実施している。<br>・定期的に避難訓練を実施している。<br>・町内会長見学していただいた。   | 年2回、併設の事業所と合同で保全業者立ち合いと町内会長の見学の下、利用者と一緒に避難訓練を実施している。日中・夜間帯で地震後の火災と書面で水害を想定して行い、振り返りで判明した課題は次回の訓練に生かしている。 | 避難場所である系列の介護施設に利用者と共に実践的避難訓練と火災や自然災害時の避難場所を家族に周知、併せて入浴や排泄時などケア場面の対処にも期待したい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |  |   |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている   | ・不適切ケア防止のマニュアルがありスタッフルームに設置している。<br>・年1回不適切ケアのアンケートを実施しケアを振り返る機会がある。  | 入社時に接遇研修を受け適切なケアのあり方を学んでいる。利用者の状況伝達時は、固有名詞を使わず個別の書類も適正に取り扱っている。不適切な支援にならないよう上司が助言や注意を促している。              |   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている  | ・入居者様が選択できる仕組みや声かけや行事内容を実施している。<br>・自己決定が難しい方には思いを汲み取れるよう日々観察し組み入れられるようにしている。                                     |  |   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                    | ・常に入居者本位を心がけ支援している。<br>・都度声かけ、傾聴をして希望を伺っている。  |  |   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している   | ・お誕生日や行事の際はメイクしている。<br>・更衣時は衣服を選択していただいている。<br>・毎日お化粧している入居者様もいる。   |  |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|---|--|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常時は入居者様にテーブル拭きや食器洗い・茶碗拭き・おやつ作りをお手伝い頂いている。</li> <li>・行事食など季節や要望に合わせて提供している。</li> </ul>   | 食事は業者から届いている。利用者の好みの物は調理レクに反映し、おでんや稲荷寿司、お好み焼きなどで利用者は腕を振るっている。時には出前寿司、流しソーメン、ワゴンを使っておやつを配るなど、食事が楽しみ事になる支援に努めている。           |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事摂取量・水分摂取量を確認し足りない時は提供を工夫している。</li> <li>・食事形態や提供内容の工夫をして食事摂取量低下を防止している。</li> <li>・飲み込みサポートセンターと連携し最期まで食べる楽しみが持てる様支援している。</li> </ul> |   |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後口腔ケア実施している。</li> <li>・歯科往診にて口腔ケア方法指導を受けている</li> <li>・歯科衛生士による口腔ケアがあり指導を受けている。</li> </ul>  |   |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレで排泄を基本とし心地よい排泄をができるように支援している。</li> <li>・一人一人の排泄間隔や尿量を把握し自立に向け支援している。</li> </ul>   | ベッド上での支援もあるが、トイレでの排泄を基本とし、自力排泄の見守り、2人介助で誘導、ポータブルトイレを使用しているが自尊心に配慮して支援している。布下着の着用や衛生用品の利用は、1人ひとりの状況に応じた対応をしている。            |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事や水分の摂取量を把握し下剤調整している。</li> <li>・毎日体操を実施し身体を動かし自然な排便を促している。</li> <li>・乳製品の提供等水分提供の工夫をしている。</li> </ul>                                |   |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことのできる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴日は決めず体調や希望に合わせて入浴している。温度調整や入浴剤を使用するなどの対応を行っている。</li> </ul>   | 入浴は、日中帯に週2回を目安にリフト浴も行い、1人入浴や同性介助、回数等の要望に応じて支援している。足湯をしてお風呂場や脱衣所を暖め肩にタオルをかけるなど、湯冷め対策を行っている。入浴時は、利用者の本音が聞け、ケアプランに反映することもある。 |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣や状況、体調に応じて休息出来る様支援している。</li> <li>・心地よく眠れるように環境の整備や清潔の保持に留意している。</li> </ul>   |   |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅療養管理指導にて内服時の注意点や副作用等について指導を受けている。</li> <li>・状況の変化に合わせて内服時の支援方法を変更している。</li> </ul>  |   |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お一人お一人役割を担っていただけるよう、家事活動等、得意なこと好きなことを情報を収集し実践している。</li> <li>・ダイバーショナルセラピーを導入し楽しみや生きがいのある生活が出来る様嗜好に合わせて支援している。</li> </ul>             |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を講じながらお花見やドライブ等の外出レクの機会を設けた。</li> <li>・ご家族と外出される機会もある。</li> </ul>                  | <p>日常的には広い敷地内を散歩する中で、菜園の野菜の成長を眺め、散歩中の園児の姿に目を細めている。家族の支援で買い物や外食が実現し、外出レクでは、桜見物や工場見学、買い物等で日々の生活に変化を付けている。</p> |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お小遣いは職員が管理している。</li> <li>・ご自身のお財布は金庫にて管理し、必要時お渡ししている。</li> </ul>                       |   |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近況報告時、ご本人に電話を替わりお話し の機会を設けている。</li> <li>・手紙やはがきが届いた際は自身で読めない方には代読している。</li> </ul>      |   |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じる事が出来るようにリビングの設えをしている。</li> <li>・トイレやリビングに匂いが籠らない様にゴミ処理の工夫や換気を行っている。</li> </ul>   | <p>四季折々の行事を大切にしている。クリスマスツリーを利用者と飾り付け点灯式を行っている。共用空間には、節分に因んだ飾りやレクでの作品を展示している中で、利用者は体操やゴルフ教室等で力量を発揮している。</p>  |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | <p>自室の他、リビング内のソファや食事席、セミパブリックスペースがあり、自由に思いの場所で過ごす事が出来る。</p>  |   |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居の際は使い慣れたなじみの家具や思い出の写真、仏壇等を設置できる様にご家族と相談しながら本人が心地よく過ごせるようにしている。</li> </ul>            | <p>ベッドとクローゼットを備えている居室には、生活用品や調度品が動線に配慮して置かれている。裁縫セットや自作のセーター、レクでの作品等が身近に置かれており、親しみ感ある居室作りが行われている。</p>       |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりに合わせ、トイレや居室などにわかり易い目印を付けるなどの工夫を行っている。</li> <li>・動線上に障害物が無いよう安全に配慮している。</li> </ul> |   |                   |